令和６年１２月１９日
つくば地域農業改良普及センター

# 大豆圃場における帰化アサガオ防除試験結果

## １　試験目的

大豆栽培で問題となっている帰化アサガオを減少させるため、新たな除草体系での防除効果を検証する。

## ２　試験区構成

| 区名 | 播種前 | 播種後出芽前（雑草発生前） |
|---|---|---|
| 試験区 | トレファノサイド乳剤の全面土壌混和 | フルミオWDG＋エコトップP乳剤の全面土壌散布 |
| 対照区 | ― | |
| 慣行区 | ― | ラクサ―乳剤の全面土壌散布 |

## ３　耕種概要

（１）品種：納豆小粒（狭畝栽培）
（２）播種日：Ｒ６年７月８日
（３）除草剤処理日：トレファノサイド乳剤　Ｒ６年７月８日
フルミオ WDG＋エコトップＰ乳剤　Ｒ６年７月９日（ラクサ―乳剤も同日）

## ４　試験結果

・試験区では帰化アサガオが発生せず、慣行区対比０％に抑えることができた。
対照区では慣行比６％以下に抑えることができた（表・図）。
・供試圃場の優先草種は、マルバアメリカアサガオおよびアメリカアサガオであった。

表：各区の雑草（帰化アサガオ）発生量

| 区名 | 発生草種 | 1㎡あたりの発生量 本数（本） | 重量（g） |
|---|---|---|---|
| 試験区 | ― | 0 | 0 |
| 対照区 | アメリカアサガオ | 4.0 | 3.5 |
| 慣行区 | マルバアメリカアサガオ | 73.0 | 66.0 |
| | 広葉雑草（タデ類） | 1.0 | 0 |
| | イネ科雑草 | 1.0 | 0 |

試験区　　対照区　　慣行区

図　播種後１６日目（Ｒ６年７月２４日）のアサガオ発生状況

## ５　注意点

トレファノサイド乳剤散布から混和までを当日中に行わないと防除効果が劣る。播種前の工程が増えるため、作業手順を検討する必要がある。